



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」
 2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」
 2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一衆の目的を目指し」

第2270回 例会

2019—3—6

- ◎司会 高橋健一郎 副会長
- ◎点鐘 林 康雄 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 星野 博之 会員
- ◎四つのテスト 星野 博之 会員
- ◎ゲスト ソダリ・セール・バハドルさん
(米山奨学生)



ソングリーダー・四つのテスト 星野博之会員

大野 RLI 担当委員長が司会をつとめ、田中会員と三上会員が参加しました。セミナーの講師は、2770 地区パストガバナーの中村靖治氏です。75 歳だとおっしゃる中村様の講演を聞くのは 2 回目です。スティーブ・ジョブズなみに、ステージを歩き周り、飽きさせない、適度な緊張感とユーモアのある語り口は流石に全国各地で講師として招聘されている方だと思いました。

続いて、先々週の 2 月 24 日(日)には、「増強の結果を求めて・公共イメージの広がりを考える」のテーマで行われたクラブ奉仕部門セミナーでの話をしたいと思います。第 2570 地区では、年度当初の昨年 7 月 1 日から 72 名の新会員の入会があったそうです。会員総数も 1607 名から 1660 名まで増加しました。

セミナーの前半は会員増強に関して A、B 二つのグループに分かれて、年度当初のクラブの増強目標数と現時点での達成数及び今後残された 4 ヶ月の期間の対策について各クラブが発表するという内容でした。私が属した

「会長挨拶」

会長 林 康雄

今日は、二十四節気の啓蟄です。「蟄虫啓戸(すごもりむしとをひらく)」の日のことで、土の中で冬ごもりしていた虫たちが地上にはい出てくる頃と言われています。私は啓蟄と聞くと、親愛なるゴルファーを虫に例えて恐縮ですが、冬ごもりしていたゴルファーが春風に誘われて、ゴルフ熱がムズムズと沸きあがり、ゴルフクラブを握りだす姿を連想してしまいます。

さて、先週の 3 月 2 日は、地区 RLI のセミナーに参加して来ました。当クラブからは、

A グループは新入会員が増えたクラブが多く、各クラブが自慢げに発表していました。候補者リストを作り単年度ではなく複数年度を掛けて増員に努力していることが分かりました。一方、会員の微増があってもこれは過渡的なもので、少子高齢化、人口減少、母体となる青年会議所などの減少、日本の経済規模の縮小等を考えると、会員増強を声高に唱えるより、RI や地区が率先して地域の適正なクラブ数を検討し、クラブの合併を提唱すべきであるとの意見もありました。熱心に勧誘しても若い人達から「ロータリークラブへ入会する意義が見当たらない」と指摘されたとの声もありました。

後半は、公共イメージを中心として地区の5 グループから代表が一名選出され、茂木ガバナリーとのセッション形式での意見交換というスタイルでした。第1グループの川越 RC の岩堀会長は例会に家族が参加することを奨励し特にご子息二人を例会やロータリーのプログラムへ積極的に参加させているとのことでした。ご次男は3月に日豪青年相互訪問でパースへ行かれるそうです。第4グループの本庄 RC の五十嵐敦子(女性)会長は、入会3年未満の会員を対象として五十嵐塾を立ち上げて早期退会防止とロータリーの基本を教えているそうです。また、本庄早稲田駅近くの公園を「マリーゴールドの丘」と名付け春は芝桜、秋はマリーゴールドの花園とし「希望の鐘」を本年4月に設置し、ファミリーや恋人が集まる名所としたいということでした。

「幹事報告」

幹事 市之瀬正靖

1. 地区事務所より2件受信

①2019-2020 年度ロータリー米山記念奨学部門カウンセラー・米山奨学生オリエンテーションの案内受信

日時：3月31日(日) 受付13:30 開会14:00

場所：ガーデンホテル紫雲閣東松山

②RLI・DL 養成セミナーの案内

日時：3月31日(日) 13:30～16:30

場所：紫雲閣

2. 第31回全国ローターアクト研修会並びに国際ロータリー第2700地区ローターアクト第50回地区大会本登録の案内受信
3. 志木市スポーツ少年団より第34回志木カップ大会後援について(申請)受信

「委員会報告」

●社会奉仕委員会

委員長 國分 学

ロータリーの森清掃活動について

3月20日(水) 午前10時より恒例の「ロータリーの森清掃活動」を行います。ルストホフ志木の池の前集合。

汚れても良い服装。スコップ・カマ等道具持参。

昼食は出ませんのでよろしくお願ひします。担当：清水一敏



「米山功労者伝達」

会長 林 康雄



宮原克平会員(6回目) 山村昭康会員(5回目)

小林八郎会員(3回目) 遠藤貴博会員(1回目)

「奨学金授与」

会長 林 康雄



林会長より米山奨学生ソダリさんに奨学金が贈られ、ソダリさんから挨拶と近況報告があった。

「ご夫人とご家族への感謝の日」

親睦活動委員会 委員 遠藤貴博

いつもロータリー活動にご協力いただいているご夫人とご家族へ感謝の印を贈ります。

1日 山村富美子様 9日 小林 紅実様
17日 飯田かおる様 25日 綱島 恵子様
31日 林 由美子様



「卓 話」

「ロータリアンとしてのあり方について」

R 情報委員会 委員 三上隆俊



皆様こんにちは、R情報委員としまして、情報の発信をさせていただきます。

前回「ロータリーについて」のテーマで、情報の発信させていただきました。「ご自身をロータリーに留めさせている源は、何らかの魅力があるからではないですか？」と、お話させていただきました。今日までの自身を顧み、数多くの方々と接することで、影響を受け、今の自分が成り立っています。生きていく根源は人と人とのコミュニティで、最小は家族であり、最大として社会だと思っています。貴重なご縁から、志木クラブに身を置かせていただき、様々な体験から、属する会員の方々こそがロータリーの魅力であると言っても過言でないと、私は思っています。魅力を感じるころは、人それぞれであり、特にジェネレーションギャップなどから、異なると思

ます。ですが、共通した魅力として、興味ある方との出会いや、インスパイアさせていただける発見が挙げられるのではないのでしょうか。

ここでは、「魅力ある方々が集うところ、魅力ある組織が形成され、魅力ある事業の展開がなされる」というスパイラルから、私自身の主観もかなり入ってしまっていますが、ロータリアンとしてのあり方について発信をさせていただきます。

国際ロータリーの定款を見ると、多様性を重んじる表れとして、魅力ある方の正会員構成の仕組みがなされています。賛否が分かれるところで、今のロータリーの入会については、門が広がり、敷居も低くなったと、嘆く方もいらっしゃると思いますが、現況として、入ってからの会員のトレーニング、つまりロータリーに入ったからこそ得られる、様々なプログラムや事業に携わり体感することで、会員の研鑽や求心力を養うことが、より大切であるようになってきていると思います。また、動機付けも大切であると考えます。人々の共存というかたちは理想です。それは繁栄にもつながっていくものだと思います。その過程において経済的自由主義の性質上、満たされないものに対し、それぞれが改善をしていく努力を怠らないことは当然です。しかし、視野を広げると、物理的にどうにもならない状況下で、困窮を強いられ、諦めとして、それを受けるしかない現実が存在することも事実です。時に、目先の損得や、費用対効果の即効性を求めがちではありますが、「ロータリーはアイサーブ」、「奉仕として、他人のために力を尽くすことは、いつか自身のためとなって返ってくる」と、時折ご教示いただくことがあります。社会のニーズとして、ロータリーしかなかった時代から、ロータリーもある時代へと、今はシフトしている観さえ感じます。ロータリークラブ創始の頃より、脈々

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい。

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

■富士見 RC (金) 12:30～ 島田ビル1F

■新座こぶし RC (水) 12:30～ ベルセゾン

■朝霞キャロット RC (月) 19:00～ シティ・イン北朝霞 3階ホール

2270-3◇
志木 RC 会報

とイズムが受け継がれ、それぞれの地域の文化や風習などの影響を受けながら熟成され、今の形があるのだと、改めて思うところがあります。致命的な刺激は望みませんが、感化を誘発する刺激はロータリーから得られる醍醐味として歓迎させていただき、今後もロータリーに入っているからこそ得られる素晴らしい出会いと、新たな発見に期待をさせていただき、同時に、少しずつでも自らが魅力あるロータリアンとなれるよう、自己を磨いていければと思うところでございます。

●出席報告 出席向上委員長 高野邦夫

会員数44名 出席義務者35名 免除者9名

本日出席	本日出席	本日出席率
35名	6名	87.50%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(0名中0名)	100%	94.65%